

国際興業バス・池07系統について

1. 池07系統（池袋駅西口～江古田二又）の廃止について

平成22年4月28日に国際興業(株)常務執行役員が区長を訪問し、区長に対して、関東運輸局長あて池07系統路線廃止（平成23年1月1日廃止）事前届出書を提出した旨の報告および「池07系統（池袋駅西口-江古田二又）の廃止について（上申書）」（別紙【写】のとおり）を提出いたしました。

それに対して区長より国際興業(株)あて池07系統の存続に向けた方策の検討を強く要請しました。

2. 池07系統に係るこれまでの経緯について

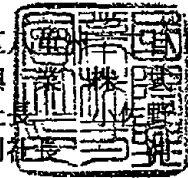
- ・平成10年9月16日 豊島副都心開発調査特別委員会
「国際興業バス路線豊島区内事業計画変更について」
- ・平成10年9月28日 区民建設委員会
10 請願第6・7・8号「国際興業バス路線（池07）廃止反対に関する請願」
・・・各々採択 区議会議長名により各々存続に関する要望書を提出
- ・平成10年10月1日 区長より存続に関する要望書を提出
- ・平成11年9月30日 区民建設委員会
11 請願第23号「国際興業バス（池07路線）の存続に関する請願」
・・・採択 区議会議長名により存続に関する要望書を提出
- ・平成14年道路運送法改正により路線廃止が許可制から届出制に規制緩和
第15条の2（略）路線（略）の休止又は廃止に係る事業計画の変更をしようとするときは、その6月前（略）までに、その旨を国土交通大臣に届け出なければならない。
- ・平成21年11月13日 豊島副都心開発調査特別委員会
「コミュニティバス導入の検討について」の案件説明の中で、バス事業者等の意見として国際興業バスから西部循環を運行した場合、池07路線は廃止をせざるを得ないと既存バス路線への影響を述べていると報告。
- ・平成21年11月19日 第4回豊島区地域公共交通会議
国際興業バス委員より平成22年度中に廃止の方針である旨の発言がある。
- ・平成22年1月20日 国際興業(株)常務執行役員が区長を訪問
池07も含めた池袋営業所管内の路線の窮状について説明される。
- ・現在に至るまで運行継続中



平成22年国運第17号
平成22年 4月28日

豊島区長 高野之夫 様

東京都中央区
国際興
代表取締役社長
代表取締役副社長



池07系統(池袋駅西口 - 江古田二又)の廃止について(上申書)

日ごろ弊社業務への格別のご支援を賜り、感謝申し上げます。
さて、標記につきまして、平成22年中の方針として下記のとおり上申いたしますので、ご高覧願います。

記

1. 池07系統(池袋駅西口 - 江古田二又)につきましては、従前より毎年数百万円の赤字を計上する系統であります。しかしながら、公共交通事業者としての責務から、平成10年の区・区議会からのご要望、平成11年の区議会からのご要望に基づき10年以上にわたり、また、平成14年の道路運送法の規制緩和によりバス路線の廃止が許可制から届出制に緩和された後も、弊社単独でここまで維持して参りました。

他方、弊社全体及び本系統を運行する池袋営業所を取り巻く昨今の状況は急速に悪化するとともに、今後の見通しにも厳しいものがございます。公共交通事業者として赤字即廃止という方針を採るものではないことには変わりはありませんが、特に状況の厳しい池07系統については、廃止も止むを得ないとの判断に至り、平成22年中の廃止に向け、平成22年4月以降、道路運送法に基づく廃止手続きに着手することとしました。

ご利用者を含め関係各位にはご迷惑をかけますが、道路運送法の規制緩和後において新しいタイプの様々な交通機関との競争圧力が増す中、豊島区内における他の赤字系統も含めた路線バスネットワーク全体の確実な維持・向上という点で引き続き公共性の使命を果たすための施策でもありますので、ご理解を賜りますようお願い致します。

2. なお、池07系統については、過去の経緯から、地元などから引き続き存続のご要望が出される場合も想定されます。しかし、そのような場合においても、上記事由から当社単独でお応えすることはいたしかねます。存続のご要望に対するにあたっては、路線補助金などの相応のご支援を前提にさせて頂きたいと存じます。

ちなみに、この点は「バス産業勉強会報告書」(平成21年4月 国土交通省・日本バス協会)にも「赤字路線については、事業者が、路線別収支を自治体に開示し、自治体や地域住民が、路線毎に補助金による運行継続か廃止か等を真剣に検討しなければならない」との記述があるとおりであり、弊社固有の対応方針ではなく、本件のような問題に対する全国的な対応方針の潮流に則るものと考えます。

以上



22国運業第12号

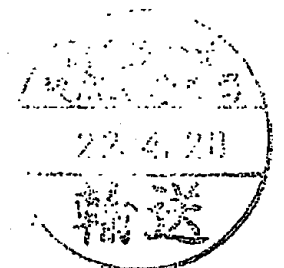
平成22年4月28日

関東運輸局長
神谷俊広 殿

東京都中央区八重洲二丁目10番3号
国際興業株式会社
代表取締役社長 小佐野 隆 正
代表取締役副社長 三 浦 哲 也

一般乗合旅客自動車運送事業の事業計画変更（路線廃止）事前届出書

今般、下記の通り一般乗合旅客自動車運送事業の事業計画を変更致したいので御届致します。



記

1. 届出事業者名

東京都中央区八重洲二丁目10番3号

国際興業株式会社

代表取締役社長 小佐野 隆 正

代表取締役副社長 三 浦 哲 也

2. 事業の種別

一般乗合旅客自動車運送事業（路線定期運行）

3. 変更しようとする事項

(1) 路線の廃止

第4項「事業計画」記載のとおり。

4. 事業計画

(1) 廃止しようとする路線

イ. 起 点：東京都豊島区要町三丁目45番先〔「要町三丁目」交差点〕

（旧地番：東京都豊島区要町3-43先）

終 点：東京都練馬区旭丘一丁目65番先〔「江古田二又」停留所〕

（旧地番：東京都練馬区江古田町2216先）

ロ. 延長料 1.980km

(2) 停留所関係

「千州四丁目」「千早高校」「長崎第二豊寿園前」「長崎六丁目」「南長崎六丁目」

「練馬総合病院入口」「江古田二又」

5. 廃止しようとする期日

平成23年1月1日（平成22年12月31日まで運行）

6. 廃止を必要とする理由

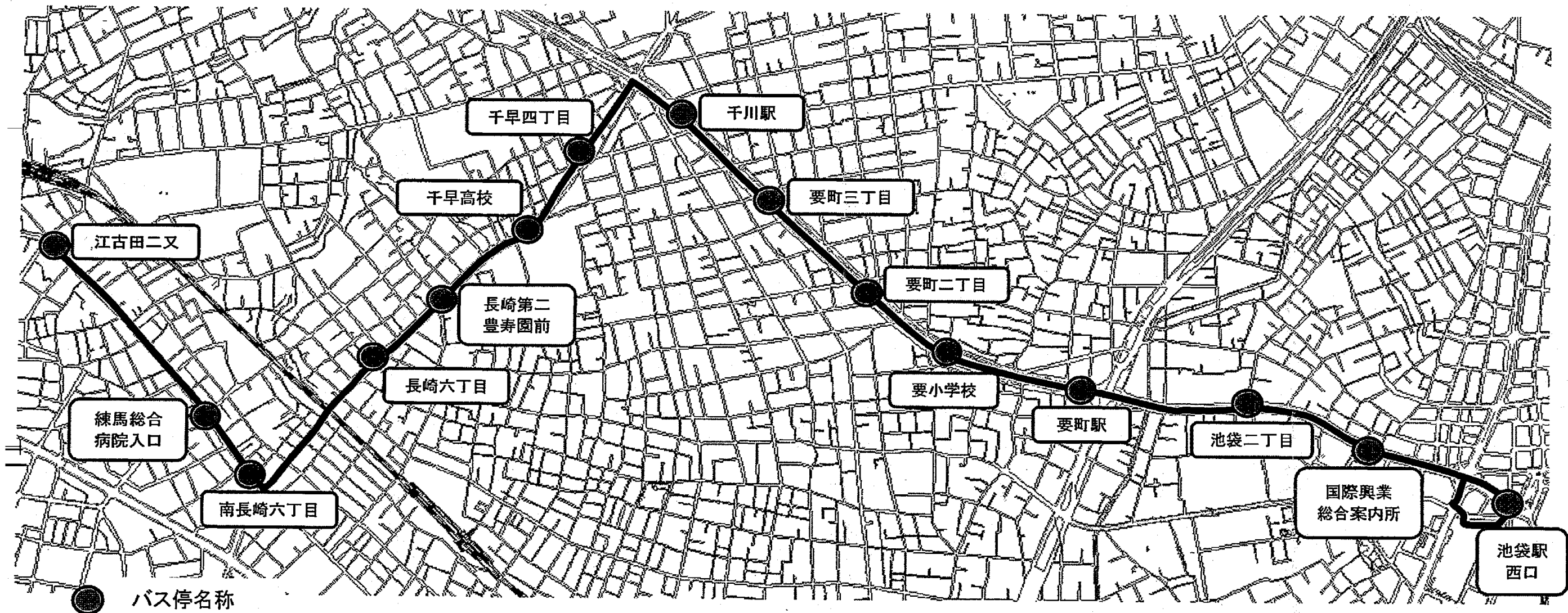
本廃止届出は、池07系統 池袋駅西口～江古田二又線を廃止しようとするものであります。

即ち、上記区間は当該系統が1日8往復運行しておりますが、東京メトロ有楽町線・副都心線千川駅、西武池袋線東長崎駅・江古田駅の一般的な徒歩圏内（800m）に当たることから、利用者数は僅少であるため廃止の申し出に至ったものであります。尚、関係する豊島区及び練馬区には事前に通知済みであることを申し添えます。

早

路線バス「池07路線」の廃止届について

- ・届出事業者名 中央区八重洲2-10-3 国際興業㈱
- ・事業の種別 一般乗合旅客自動車運送事業(路線定期運行)
- ・廃止する運行系統 池07(池袋駅西口～江古田二又)
- ・廃止の期日 平成23年1月1日(平成22年12月31日まで運行)
- ・廃止理由 現行1日8往復運行であるが、利用者数が僅少であるため



【現行運行状況】

(平日) 池袋駅始発8:50 終発16:50 江古田二又始発9:15 終発17:15
 (土休日)池袋駅始発9:50 終発16:50 江古田二又始発10:15 終発17:15

※1日8往復(1月1日のみ6往復) 片道約20分

路線バス「池07路線」の乗降客数について

1. 運行系統名

系統番号	運行系統
池07	池袋駅西口～江古田二又

2. 運行系統ごとに地方運輸局長が指定する時間帯ごとの運行回数並びに始発及び終発時刻

廃止

期間・曜日等		指定時間帯／運行回数					始発時刻	終発時刻		
		6～9時台	10～15時台	16～21時台	22～5時台	計				
通年	平日	往	2	5	1	0	8	850	1650	
		復	1	5	2	0	8	915	1715	
	土曜	往	1	6	1	0	8	950	1650	
		復	0	6	2	0	8	1015	1715	
	日祭	往	1	6	1	0	8	950	1650	
		復	0	6	2	0	8	1015	1715	
	年	1月1日	往	1	5	0	0	6	950	1550
			復	0	5	1	0	6	1015	1615
		1月2・3日	往	1	6	1	0	8	950	1650
			復	0	6	2	0	8	1015	1715

運行回数 8月13日～15日の平日は土曜と同じ、12月30日・31日は日祭日と同じ

【下り】

調査日	平成21年6月12日 池袋駅西口 9:50発			平成22年4月30日 池袋駅西口 13:50発		
	乗車人数	降車人数	車内人数	乗車人数	降車人数	車内人数
池袋駅西口	2	0	2	4(2)	0	4(2)
国際興業総合案内所	0	0	2	0	0	4(2)
池袋二	1	0	3	0	0	4(2)
要町駅	0	0	3	0	0	4(2)
要小学校	2	0	5	0	0	4(2)
要町二	1	0	6	0	0	4(2)
要町三	0	0	6	0	0	4(2)
千川駅	0	0	6	2(2)	0	6(4)
千早四	0	0	6	1	0	7(4)
千早高校	1	0	7	0	0	7(4)
長崎第二豊寿園前	0	▲1	6	0	▲1(1)	6(3)
長崎六	0	0	6	0	▲2(1)	4(2)
南長崎六	0	▲2	4	0	▲2(2)	2
練馬総合病院入口	0	▲4	0	1(1)	0	3(1)
江古田二又	0	0	0	0	▲3(1)	0
合計	7	▲7	-	8(5)	▲8(5)	-

注：乗降人員から調査員は除く。22年4月の調査中、()はシルバーパス使用者で内数。

【上り】

調査日	平成21年6月12日 江古田二又 11:15発			平成22年4月30日 江古田二又 14:15発		
	乗車人数	降車人数	車内人数	乗車人数	降車人数	車内人数
江古田二又	4	0	4	5(4)	0	5(4)
練馬総合病院入口	1	0	5	1(1)	0	6(5)
南長崎六	3	0	8	0	0	6(5)
長崎六	3	0	11	3(3)	0	9(8)
長崎第二豊寿園前	3	0	14	2(2)	0	11(10)
千早高校	1	0	15	0	0	11(10)
千早四	0	▲1	14	0	0	11(10)
千川駅	1	▲1	14	0	▲1(1)	10(9)
要町三	0	0	14	0	0	10(9)
要町二	0	0	14	0	0	10(9)
要小学校	0	▲1	13	0	0	10(9)
要町駅	0	▲1	12	1(1)	0	11(10)
池袋二	0	0	6	0	▲2(2)	9(8)
国際興業総合案内所	0	▲1	11	0	0	9(8)
池袋駅西口	0	▲11	0	0	▲9(8)	0
合計	16	▲16	-	12(11)	▲12(11)	-

注：乗降人員から調査員は除く。22年4月の調査中、()はシルバーパス使用者で内数。